

科目名	ほねと筋肉 2							年度	2024
英語科目名	Bone and muscle 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小西裕司、加藤健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】									
当科目では特に体幹の筋を学ぶことで医療従事者との情報共有の基礎となり、また患者やその家族に対しては丁寧な説明による自発的な理解を得るための重要な知識の一つとなります。柔道整復師としてのコミュニケーションスキルを磨くための手段として学ぶことが目的となります。									
【科目の概要】									
体の各部位について幼児や老人にも理解しやすく説明できる知識を学びます。									
【到達目標】									
体幹を構成する筋肉が身体の中のどの位置にあるかを理解し、それらの関連を整理・配列し、各形態・構造および機能を把握していくことで進行していく。人体の構造と機能が立体的に把握できるようになる。体幹の筋についての分類・特徴・起始・停止・作用・支配神経を理解・習得する。									
【授業の注意点】									
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由無く欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標A	骨格筋の基礎的な知識を完全に理解している。	骨格筋の基礎的な知識を大体理解している。	骨格筋の基礎的な知識を部分的に理解している。	骨格筋の基礎的な知識がやや欠けている。	骨格筋の基礎的な知識について理解が不足している。				
到達目標B	頸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	頸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	頸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	頸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	頸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。				
到達目標C	胸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	胸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	胸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	胸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	胸部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。				
到達目標D	腹部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	腹部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	腹部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	腹部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	腹部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。				
到達目標E	背部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について完全に理解している。	背部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について大体理解している。	背部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について部分的に理解している。	背部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項についての理解がやや欠けている。	背部の筋における起始、停止、作用、支配神経、その他の事項について理解が不足している。				
【教科書】									
教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。筋模型を教材室から準備する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ほねと筋肉 2			年度	2024
英語表記		Bone and muscle 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	頸部の筋①	浅頸筋と側頸筋を理解する。	1 広頸筋	起始、停止、作用、神経、特徴について理解する。	3	
			2 胸鎖乳突筋	起始、停止、作用、神経、特徴について理解する。		
			3 頸窩と小鎖骨上窩	構成する部位について理解する。		
2	頸部の筋②	前頸筋のうちの舌骨上筋群を理解する。	1 分類	舌骨上筋群に属する筋について理解する。	3	
			2 顎二腹筋	起始、停止、作用、神経、特徴について理解する。		
			3 顎下三角	構成するものとその特徴について理解する。		
3	頸部の筋③	前頸筋のうちの舌骨下筋群と頸部における三角を理解する。	1 分類	舌骨下筋群に属する筋について理解する。	3	
			2 肩甲舌骨筋	起始、停止、作用、神経、特徴について理解する。		
			3 各三角	前頸三角、後頸三角に含まれる各三角について理解する。		
4	頸部の筋④	後頸筋を理解する。	1 分類	後頸筋に属する2つの筋群について理解する。	3	
			2 椎前筋群	椎前筋群に属する筋について理解する。		
			3 斜角筋群	斜角筋群に属する筋と斜角筋三角の構成・特徴について理解する。		
5	胸部の筋①	浅胸筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 三角筋胸筋溝	構成するものとその特徴について理解する。		
			3 翼状肩甲	関係する筋と支配神経について理解する。		
6	胸部の筋②	深胸筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 呼吸筋	吸気筋と呼気筋の分類について理解する。		
			3 胸式呼吸	外肋間筋と内肋間筋について理解する。		
7	胸部の筋③	横隔膜を理解する。	1 位置と作用	起始、停止と腹式呼吸について理解する。	3	
			2 支配神経	頸神経叢の枝について理解する。		
			3 特徴	孔（ないし裂孔）の名称と役割について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回までの講義を振り返る。	1 頸部の筋	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 頸部の三角	前頸三角と後頸三角に属する各三角について理解する。		
			3 胸部の筋	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。		
9	腹部の筋①	前腹筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 多腹筋とは	構造とその特徴について理解する。		
			3 腹直筋鞘	役割について理解する。		
10	腹部の筋②	側腹筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 腹直筋鞘	構成する筋について理解する。		
			3 尿管	構成する筋とその役割について理解する。		
11	腹部の筋③	後腹筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 胸腰筋膜	付着部について理解する。		
			3 背下部の機能	スポーツ医学について理解する。		
12	背部の筋①	浅背筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 僧帽筋	二重神経支配について理解する。		
			3 背部の三角	聴診三角とプティ三角について理解する。		
13	背部の筋②	深背筋を理解する。	1 分類	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 脊柱起立筋	分類と走行について理解する。		
			3 後頭下三角	構成する筋とその特徴について理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回までの講義を振り返る。	1 腹部と背部の筋	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 特徴	多腹筋、腹直筋鞘、尿管について理解する。		
			3 背部における三角	聴診三角とプティ三角について理解する。		
15	総まとめ	後期の講義内容を総括する。	1 頸部～背部の筋	属する筋の起始、停止、作用、神経について理解する。	3	
			2 各筋の作用	日常生活動作やスポーツ動作について理解する。		
			3 各部における三角	構成とその特徴について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、32. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等